

第二次釜石市都市計画マスタープラン【概要版】

1 都市計画マスタープラン改訂にあたって

釜石市では、目指す将来像「一人ひとりが学びあい 世界とつながり未来を創るまちかまいし～多様性を認めあいながらトライし続ける不屈のまち～」を実現するため、令和4年3月に「都市計画マスタープラン」を策定します。

都市計画マスタープランとは、市の様々な分野の計画のうち「都市計画に関する基本的な方針」であり、この方針に基づき「都市づくり」の計画や事業等が行われます。

本マスタープランは、「第六次釜石市総合計画」(令和3年3月策定)を上位計画とし、人口減少・少子高齢化時代の到来、公共交通の再編、復興事業で整備された公共施設の維持管理、RWC2019開催後の観光振興等、東日本大震災を契機に大きく変化した当市を取り巻く情勢に対応した、都市づくりの基本方針として定めたものです。

対象区域

総合的に整備、開発又は保全を行う区域である「都市計画区域」とします。

目標年次

概ね20年後の令和22年度とし、必要に応じて見直しや充実を図ります。

2 都市づくりの課題

釜石市の現状や今後の動向、市民のまちづくりに対する意見等を踏まえるとともに、急激に変化する社会経済状況等も考慮した都市づくりの課題を整理します。

震災後の動きと今後の見通し

止まらぬ人口減少・少子高齢化

都市活力の低下

新型コロナウイルス感染症の感染拡大

高度情報化社会の進展

頻発化・激甚化する自然災害

持続可能な開発目標(SDGs)への貢献

都市づくりの課題

災害から生命と暮らしを守る都市づくりの必要性

- 新しい生活様式に対応した、安全・安心して暮らせる環境づくり
- 防災や減災が強化された都市づくり

暮らしの安心を確保した都市づくりの必要性

- 地域公共交通等、身近な移動環境の確保
- 公共施設の計画的な修繕や耐震化、都市基盤施設の維持管理と新設・改良等
- 「釜石版地域包括ケアシステム」と一体となった都市づくり

人やもの、情報等が交流する都市づくりの必要性

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による産業の持続化
- 物流関連産業や輸出産業におけるサプライチェーンの構築
- 広域連携によるひと・もの・情報等が交流する都市づくり

環境負荷への軽減を目指した都市づくりの必要性

- “環境負荷軽減”の低炭素型社会の実現(SDGsへの貢献)
- 都市機能が集約された効率的な都市づくり
- 次の災害へ備えたエネルギー確保

市民が誇れる地域資源を売りとした都市づくりの必要性

- 地域固有資源、景観財として活用した地域の魅力を高める都市づくり
- 豊かな自然環境を売りとした戦略的な定住促進
- 日常の生活圏域を中心とした豊かな暮らしの実現

3 全体構想

第六次釜石市総合計画等の上位計画を踏まえ、都市づくりの課題の解決に向けた「目標とする都市像」及び「基本方針」を示すとともに、釜石市全体の「将来都市構造」及び「都市づくりの分野別方針」を示します。

目標とする将来都市像と達成するための基本方針

【目標とする都市像】

**一人ひとりが学びあい
世界とつながり未来を創るまちかまいし**
～多様性を認めあいながらトライし続ける不屈のまち～

【都市づくりの方向性の視点】

- 復興から持続可能な都市づくりへの本格的な転換

【基本方針】

基本方針1 広域交通ネットワークの利便性や港湾機能の優位性を生かした都市づくり

基本方針2 高齢社会に対応した新たな生活拠点を中心とした都市づくり

基本方針3 誰もが安全・安心に暮らせる都市づくり

【都市づくりの方向性の視点】

- 「人をひきつける」=自然と共生する取組

【基本方針】

基本方針4 自然と共生する釜石の価値観に共感し、新たな地域活性化へつなげる都市づくり

基本方針5 釜石の良さを再び感じ、豊かに生きる都市づくり

基本方針6 都市の魅力と誰にでも優しい釜石ライフスタイルを目指した都市づくり

将来人口の設定

- 第六次釜石市総合計画及び釜石市人口ビジョン(改訂版)を踏まえ、令和 22 年度における人口は、27,000 人を目標とします。

将来都市構造

● 土地利用ゾーニング

- 当市の市街地の特性を踏まえ、将来的な土地利用の基本となるゾーニングを行い、効率的な市街地の形成、自然環境との調和等、持続可能な土地利用の実現を進めます。
- 中心市街地ゾーン(釜石地区)
中核的な商業・業務機能、行政・文化や教育・福祉等の機能、港の産業やにぎわい機能等が集積する魅力的な市街地を形成するとともに、当市の広域交通ネットワークの利便性や港湾機能の優位性を活かした、人・もの・情報等が交流・集積するゾーンを形成します。
- 中心市街地ゾーン(中妻地区)
国道 283 号沿線を中心に釜石中央 IC と釜石地区を結ぶ連携軸を強化し、商業・業務機能が集積するゾーンを形成します。
- 市街地ゾーン
幹線道路、駅、公共施設を中心に住宅や生活サービス機能を集積し、暮らしやすさを活かした住環境の整備や周辺の自然環境との調和を図るゾーンを形成します。
- 自然共生ゾーン
豊かな自然環境を保全しつつ、生活環境の向上を図り、自然環境と共に存するゾーンを形成します。

● 拠点形成

- 様々な都市活動を維持するため、中核的な都市活動を担う「中心拠点」と日常生活圏における「地域拠点」を中心とした拠点形成を進めます。
- 中心拠点**
釜石地区の中核的な商業・業務機能や行政・文化機能が集約されている大町～魚河岸周辺を「中心拠点」と位置づけ、多種多様なサービスを提供する魅力あふれる街なかとして、周辺地区との連携や回遊性を高めながら、にぎわいと交流の拠点形成を進めます。
- 地域拠点**
平田地区・中妻地区・甲子地区・小佐野地区・鵜住居地区・栗橋地区・唐丹地区における生活応援センター周辺を「地域拠点」と位置付け、居住、医療・福祉、商業、公園等が集積した生活利便性の高い街として、周辺の日常生活圏域における暮らしを支援しながら、地域コミュニティの拠点形成を進めます。

● 都市軸の形成

- 釜石地区の「中心拠点」と鵜住居地区・平田地区・唐丹地区の「地域拠点」は、三陸沿岸道路及び国道45号の南北方向の広域交通軸上にあるとともに、中心拠点の都市活動を連携・補完、共存する都市軸として「南北連携・共存都市軸」と位置づけます。
- 釜石地区の「中心拠点」と中妻地区・小佐野地区・甲子地区の「地域拠点」は、東北横断自動車道釜石秋田線及び国道283号を中心に東西方向の広域交通軸上にあるとともに、広域的な交通利便性を活かした都市機能の集積や広域的な交流・活動を促進する都市軸として「東西連携・共存都市軸」と位置づけます。「南北連携・共存都市軸」との結節点に位置する釜石港は、「世界につながる国際貿易港」として物流産業や輸出産業の集積拠点の役割を担います。
- 各地区の「地域拠点」を連絡し、それぞれの地域活動が連携し互いに補完しあう軸として「地域連携軸」と位置づけます。

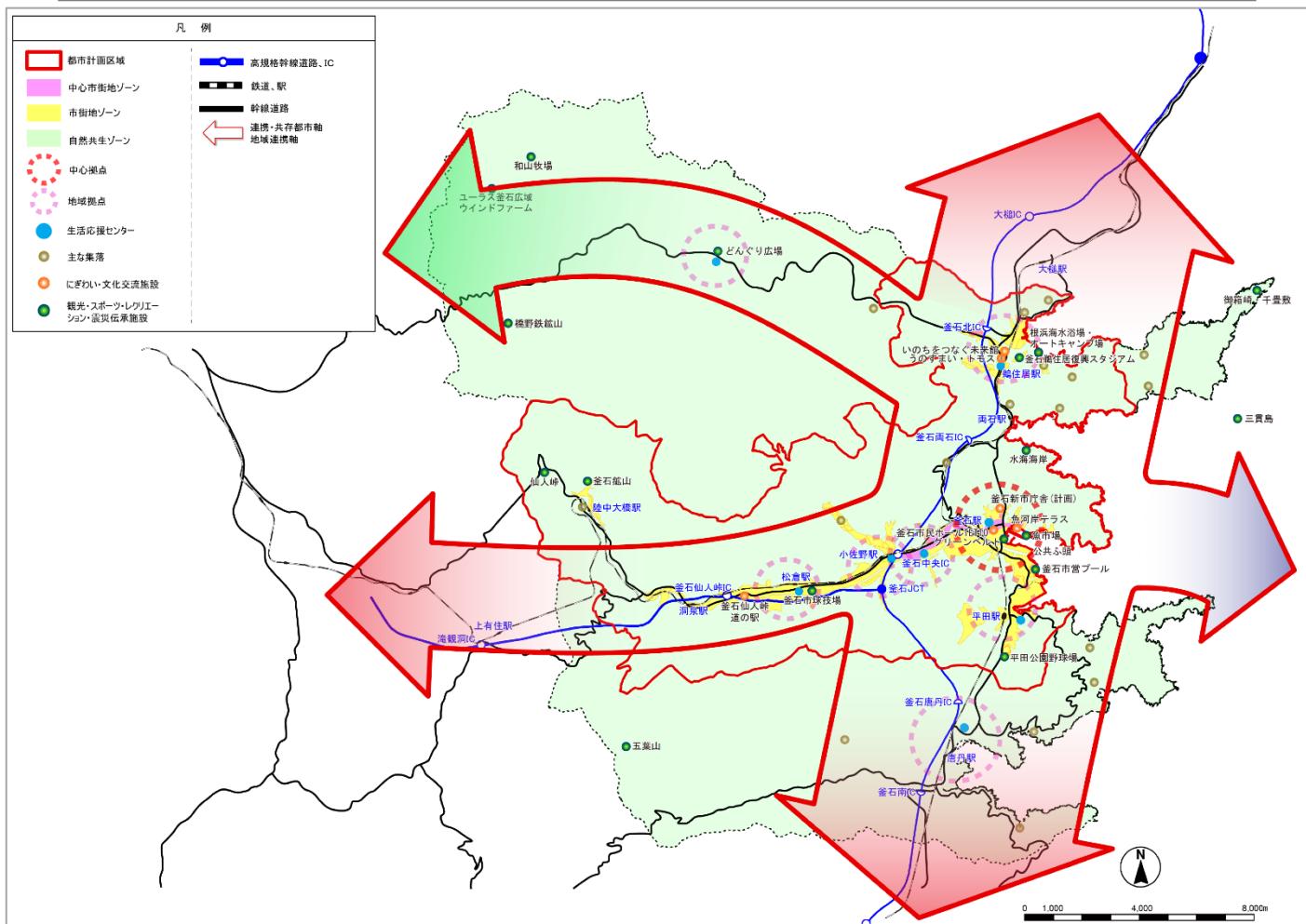


図 将来都市構造図

分野別方針

● 土地利用の方針

- 豊かな森林と水に恵まれた自然資源及び景観資源の保全を図り、貴重な資源として次代に継承します。
- 都市的土地区域については、商業系、住宅系、産業系、自然系の主要な土地利用を区分し、当市を取り巻く状況の変化や特性を踏まえ、将来に向けた都市づくりの基本方針に基づき、適正な土地利用の誘導や必要な都市施設の整備等を推進します。
- IC周辺の低未利用地や津波被災地域における集団移転跡地は、産業機能等の立地・誘導による土地の有効活用を進めます。

商業系土地利用(釜石地区)

- 魅力ある商店街づくりの推進、釜石港周辺の“海と魚のにぎわい交流アリア”と一体的なにぎわいづくり
- 新市庁舎建設計画に伴う移転跡地、周辺の低未利用地等の有効活用、工業施設等の用途地域の変更等による適正な土地利用の誘導

【用途未指定地域】

- 都市計画域内で用途地域が未指定の地域(白地地域)
 - 特定用途制限地域の指定、建築形態規制(容積率・建ぺい率の設定)等の土地利用規制の検討

【住宅系土地利用】

- 住宅の耐震化と老朽建築物の建替え促進
 - 住宅の耐震化の促進
 - 市街地内に点在する老朽建築物の建替えや改修の促進
 - 住宅系用途地域における準防火地域指定の見直し検討

高野沢鉱山

商業系土地利用(中妻地区)

- 幹線道路沿道の既成市街地における商業・業務機能の集積促進
- 用途地域の変更等による土地利用の誘導

住宅系土地利用

- 日常生活圏域を中心とした暮らしやすい良好な住環境の形成、産業系土地利用内の住宅地整備に伴う用途地域変更、土地利用の純化
- 住宅の耐震化、老朽建築物の建替え・改修促進、準防火地域の見直し検討
- 復興事業で整備した市街地における低未利用地の利活用促進

【大橋地区】

- 産業遺産の活用
- 用途地域の変更等による土地の有効活用

仙人峠

【大松地区】

- 学校跡地の有効活用

産業系土地利用

- 釜石港は輸出産業の集積等の推進、臨海部及びIC周辺は産業集積促進と用途地域の変更等による土地利用の誘導
- IC周辺の低未利用地の産業集積や用途地域の変更、平田埋立地における産業・研究拠点の形成

自然系土地利用

- 山や海の資源を活用したグリーン・ツーリズム等、持続可能な滞在型交流観光の推進
- 都市計画区域内で用途地域未指定の区域(白地地域)は、必要に応じて特定用途制限地域の指定等の土地利用規制の検討

凡　例	
●	高規格幹線道路
■	鉄道
▬	幹線道路
□	都市計画区域
■	商業系土地利用
▬	住宅系土地利用
■	産業系土地利用
■	自然系土地利用
■	公園



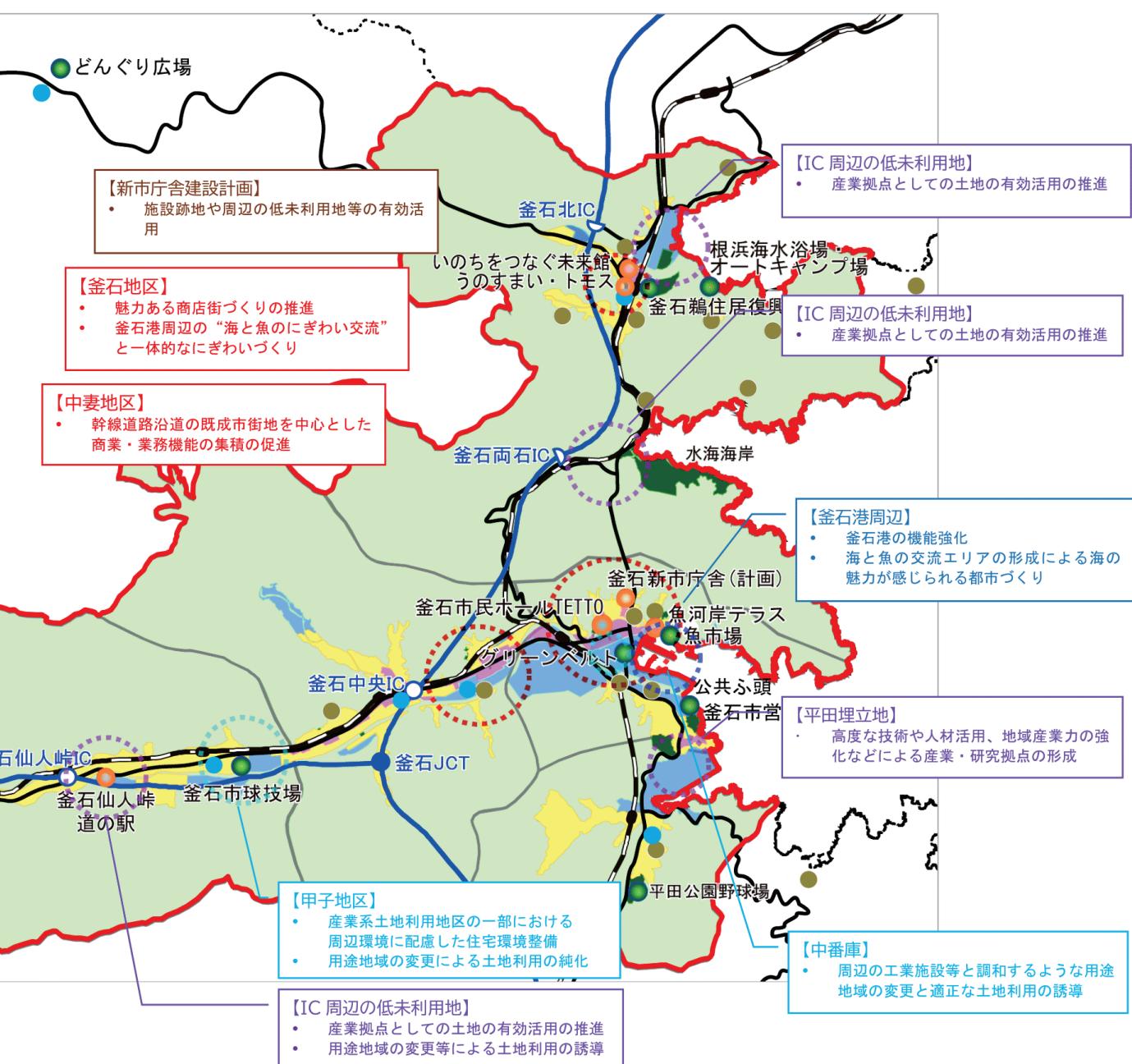


図 土地利用の方針

● 都市施設等の方針

- ・ 都市施設等の基本的な考え方は、近隣の他都市との広域的な連携の強化、市域内の生活圏域における様々な都市活動を支える幹線道路、暮らしを支える生活道路、身近な公共交通等の整備・充実を目指します。
- ・ 利用者の利便性や周辺環境との調和に配慮した公園・緑地、市民にとって安心して快適に利用できる上下水道施設等の整備・充実を目指します。

道路

- ・ 効率的かつ効果的な道路ネットワーク構築、釜石両石 IC のフルインター化
- ・ 避難経路の機能と安全性向上、安全な生活道路の整備、歩道幅員の確保やバリアフリー化、長期間未着手の都市計画道路の計画の見直し

【全体】

● 道路

- 効率的かつ効果的な道路ネットワークの構築
- 道路施設の点検及び計画的な修繕・耐震化による災害に強い道路網の形成
- 歩道幅員の確保やバリアフリー化による安全で快適な歩行者空間の整備
- 長期間未着手の都市計画道路の見直し

● 公共交通網

- 接続可能な交通体系の整備と“みんなで支える公共交通”的推進
- 人と環境の共生
- 環境負荷軽減の取組等による地球環境に配慮した都市づくりの推進

公共交通網

- ・ 既存交通資源を有機的に結びつけた地域公共交通網の形成
- ・ 持続可能な交通体系を整備するため、「みんなで支える公共交通」の推進

公園・緑地

- ・ 多様な利用形態や市民ニーズの変化等を踏まえた公園・緑地の適正な配置や再編の検討
- ・ 子どもたちが安心して遊べる場所の確保、既存遊具の更新や施設の長寿命化の計画的な推進

供給処理施設

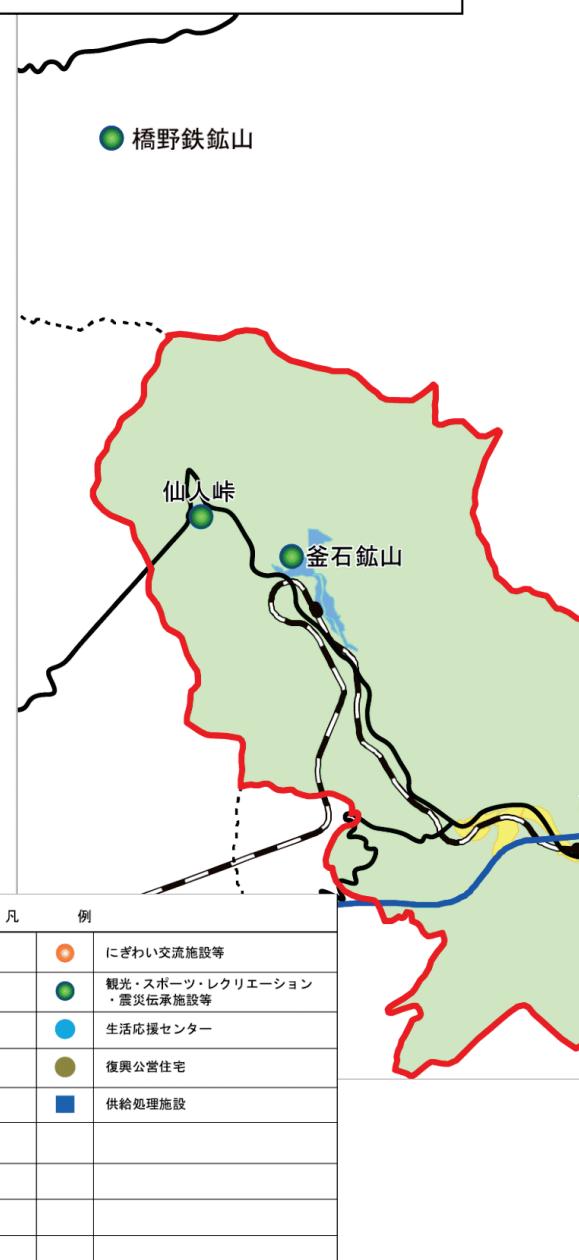
- ・ 上下水道施設等の生活インフラの計画的な整備・維持管理
- ・ 衛生的で健康的な心地よい生活空間を創生する都市づくりの推進

建築系公共施設

- ・ 防災拠点の役割を担う新市庁舎建設整備、現庁舎跡地の効果的な活用検討
- ・ ニーズに応じた Wi-Fi 環境の整備や ICT サービスの導入
- ・ 公営住宅の日常的な維持・補修、老朽化施設の改修・解体等、公営住宅の長寿命化の計画的な推進

人と環境が共生する都市づくり

- ・ 環境負荷軽減への取組や地球温暖化対策等の地球環境に配慮した都市づくりの推進
- ・ 海洋再生可能エネルギーと海洋産業の創出に向けた活動支援



凡　例

	高規格幹線道路		いざわい交流施設等
	鉄道		観光・スポーツ・レクリエーション ・震災伝承施設等
	幹線道路		生活応援センター
	都市計画区域		復興公営住宅
	商業系土地利用		供給処理施設
	住宅系土地利用		
	産業系土地利用		
	自然系土地利用		
	公園		

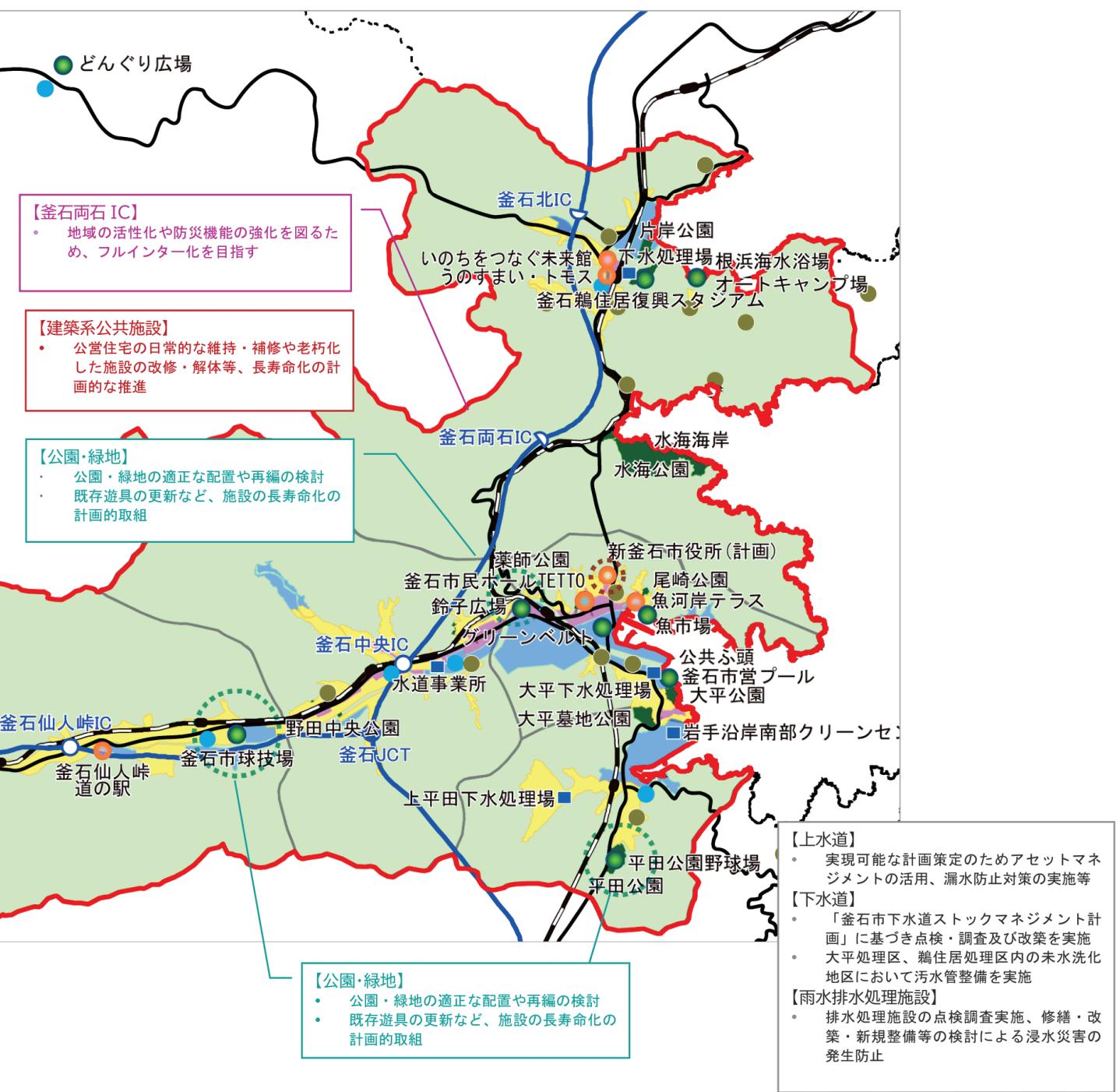


図 都市施設等の方針

● 都市防災の方針

- ・ 多様化・甚大化する自然災害に対し、ハードとソフトの防災対策が重なりあって市民の生命を守る、多重防御による防災・減災対策を推進します。
- ・ また、災害に対して的確に対応していくため、行政による都市防災の対策を確実に進めるとともに、市民が自らを守る自助の意識を高めつつ、災害時の要援護者への対応等、地域が市民を守る共助の取組を目指します。
- ・ 地域コミュニティにおける共助による防災活動を推進するために、自主防災組織の組織力向上に努め、その活動を支援し、地域防災力の向上を図ります。

安全な避難場所及び避難経路の整備

- ・ 安全な避難経路としての主要な幹線道路の歩道幅員の確保、狭い道路の解消等

防災施設の整備等

- ・ 想定最大規模の津波浸水想定を参考とした安全対策の推進、県と連携した土砂災害、洪水・内水氾濫等の対策
- ・ 建築系公共施設における避難場所機能の付加、防災拠点としての新市庁舎建設の整備

安全な道路網の形成

- ・ 災害時の集落孤立を防ぐための道路の危険箇所の改良、老朽化が進む道路施設の点検・計画的な修繕・耐震化の推進

迅速かつ確実な避難行動を行える防災意識の醸成

- ・ 地域と密着した実践的な津波避難訓練や防災訓練の実施、津波、洪水・土砂災害等に応じたハザードマップの整備、防災意識の向上

地域防災機能の充実・連携

- ・ 地域防災力の推進に向けた協力体制の構築・充実、避難行動要支援者の「個別避難支援計画」策定

緊急時のエネルギー確保に向けた取組の推進

- ・ 災害発生時の拠点となる公共施設等での再生可能エネルギー、蓄電池の導入等、災害時のエネルギー確保に向けた取組

【全域】

- ・ 安全な道路網の形成
 - 災害時の集落孤立を防ぎ、道路の危険箇所の改良や老朽化が進む道路施設の点検・計画的な修繕・耐震化
- ・ 安全な避難場所及び避難経路の確保
 - 災害状況に応じた安全な避難経路、避難場所の確保
 - 主要な幹線道路の歩道幅員の確保や狭い道路の解消等
- ・ 建築系公共施設
 - 避難場所の機能付加の検討
- ・ 土砂災害対策の推進
 - 砂防事業や雨水幹線の改良等
 - 住宅地近接部の急傾斜地等土砂災害危険箇所の、警戒避難体制の整備と一定の開発行為制限や住宅移転の促進
- ・ 防災施設の整備
 - 想定最大規模の津波浸水への安全対策

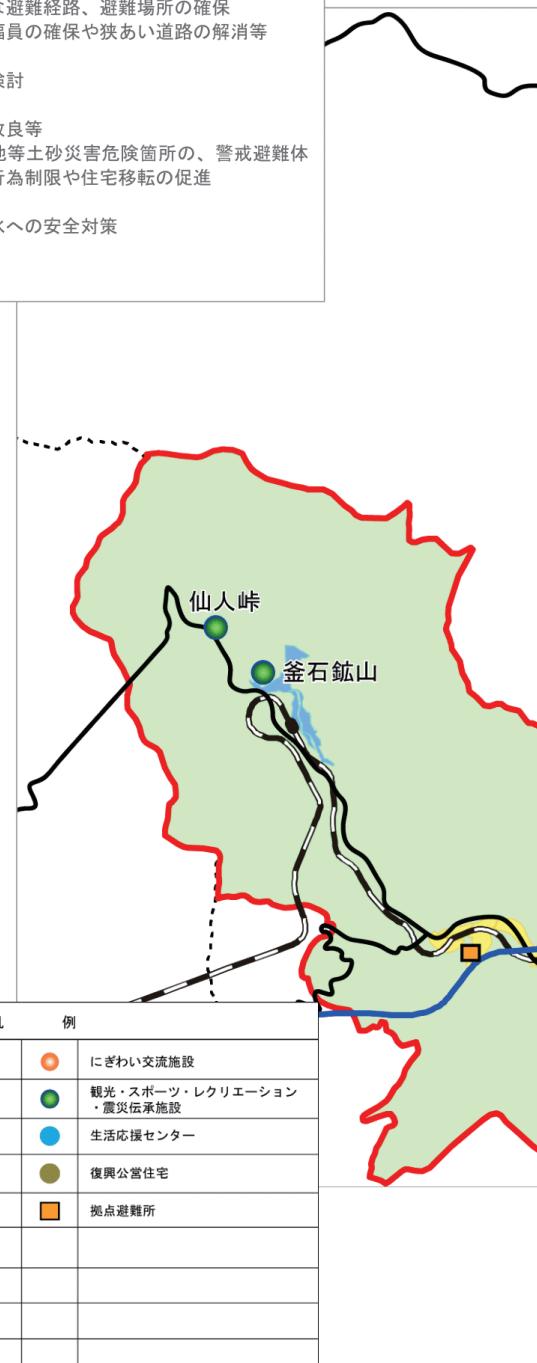




図 都市防災の方針

● 都市景観の方針

- ・ 当市は、三陸復興国立公園や五葉山県立自然公園等の海、山、川による豊かで美しい自然に恵まれていることから、日常の生活において自然との共生を感じることのできる良好な景観の形成を目指します。
- ・ 当市の代表的な顔として、中心市街地の魅力のある景観づくりを進めるとともに、豊かな自然を身近に感じられる市街地として、活力と潤いのある都市景観の形成を目指します。
- ・ また、橋野鉄鉱山や釜石鉱山、釜石港に代表される地域固有の産業・歴史・文化が、次世代に引き継がれていることを実感できる都市景観の形成を目指します。

市民が魅力を感じている豊かな自然景観の保全

- ・ リアス海岸、甲子川、市街地を取り囲む山林等の豊かな自然景観の適正保全、建築物や人工物の豊かな自然景観と調和への取組
- ・ 五葉山県立自然公園等の自然環境の保全、河川沿いの農地や放牧地等の景観保全

釜石らしい市街地景観の形成

- ・ 釜石を代表する顔とした中心市街地と海と魚のにぎわい交流エリアでの快適な空間づくり、道路環境や公園・広場・緑地等の計画的整備
- ・ 多くの市民が誇れる豊かな自然環境と魅力的な市街地との調和

港や産業・歴史・文化の個性を活かす景観の形成

- ・ 当市を象徴する釜石港周辺の工業施設の景観資源を活用した魅力ある都市景観の創出
- ・ 橋野鉄鉱山や釜石鉱山の貴重な歴史的景観と自然景観の保全・活用

公共公益施設による景観の形成

- ・ 行政・文化等の公共公益施設での周辺環境と調和した景観づくりと街なみ形成の誘導

● 福祉の都市づくりに関する方針

- ・ 急激に進行する少子高齢化を踏まえ、高齢者、障がい者、子ども、引きこもり、生活困窮者等が、可能な限り住み慣れた地域で、安心して、自立した自分らしい暮らしを続けることができるよう、保健・医療・福祉・介護が整った環境づくりを目指すとともに、地域コミュニティ拠点を核としたコミュニティ活動の充実を図ることにより、絆と支えあいを大切にするまちづくりを目指します。

誰もが生活しやすい環境の確保・充実

- ・ 老朽住宅と耐震性に不安のある住宅の建替えや改善等、多様なライフスタイルに対応した住宅の確保
- ・ 復興公営住宅の市単独住宅への転用等、移住・定住の取組を推進するために、市が管理する住宅の柔軟な利活用の検討

地域コミュニティの強化と福祉の都市づくりの推進

- ・ 日常生活圏域における地域拠点を中心とした釜石版地域包括ケアシステムと一体となった都市づくり、地域コミュニティの強化・機能充実
- ・ 様々な分野におけるユニバーサルデザイン導入の推進

公共施設等の有効活用・利便性の向上

- ・ 地域の様々な活動を支える施設としての効率的な利活用
- ・ 人が多く集まる駅や公共施設、民間施設等での出入口や通路等のバリアフリー化

4 地地区別構想

第六次釜石市総合計画と整合を図り、都市計画区域を「釜石地区」、「平田地区」、「中妻地区」、「甲子地区」、「小佐野地区」、「鵜住居地区」に区分し、それぞれの地区的特徴を活かした都市づくりを進めます。

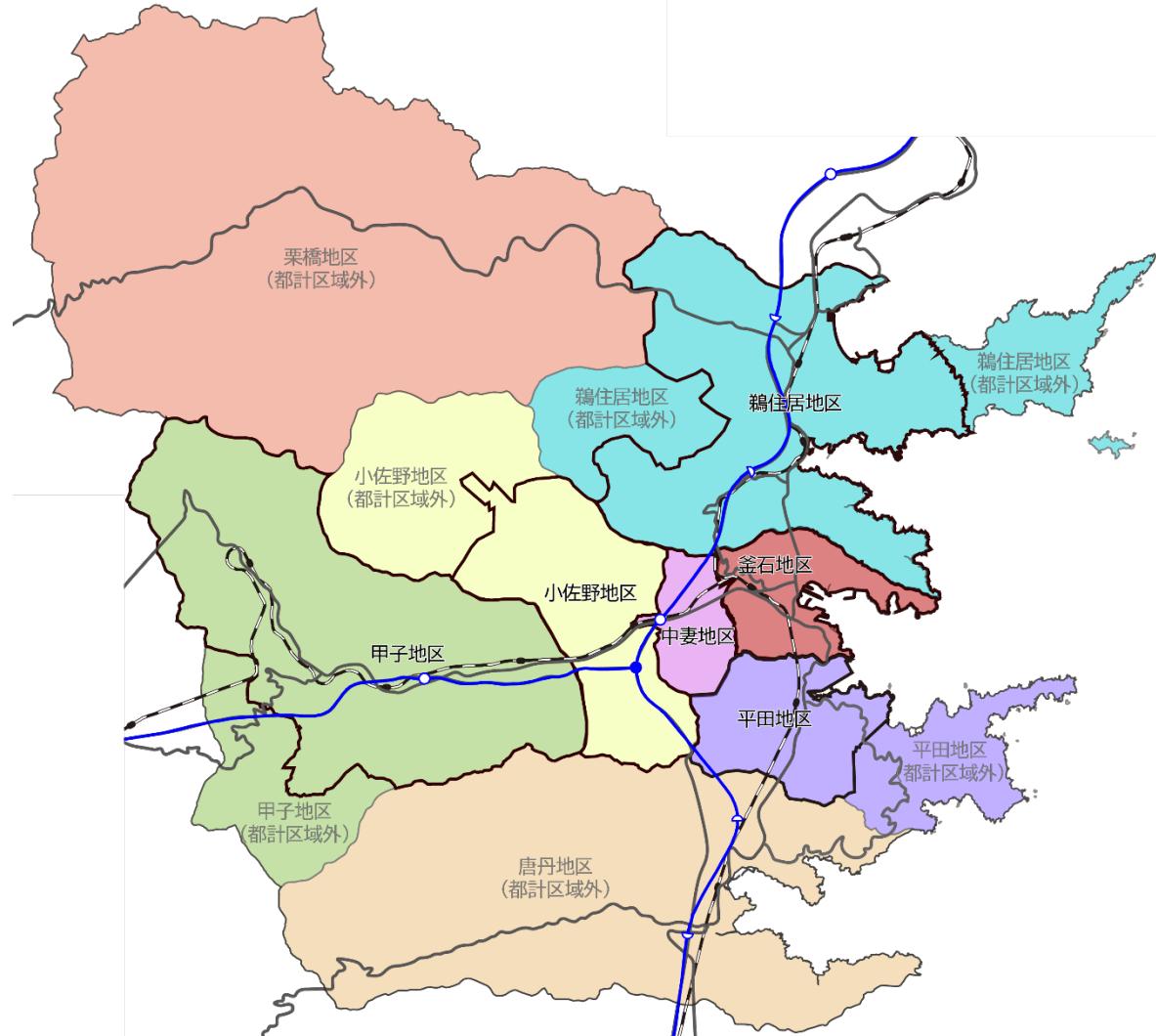


図 地区区分の位置

釜石地区

- 都市づくりにおける地区の将来像
「釜石の顔として、魅力と活力のあるまちづくり」

- 釜石地区は、当市の中心的な役割を担ってき
・ 釜石の顔として、中核的な商業・業務、文化
した魅力と活力のあるまちづくりを目指しま

釜石地区都市づくり構想図

【都市施設の方針】

- ・長期間未着手都市計画道路の計画の見直し
- ・公園・緑地の適正な配置・再編と子どもたちが安心して遊べる場所の確保
- ・浸水被害の軽減対策の推進
- ・防災拠点としての役割を担う新市庁舎建設設計画の推進

【景観の方針】

- ・甲子川や市街地を取り囲む山林等の自然景観の保全と海の眺望を意識した美しい都市景観づくり
- ・釜石大観音周辺の眺望を保全・活用した都市景観づくり

【都市防災の方針】

- ・多様化する自然災害に対応した避難経路、避難場所の確保
- ・津波、高潮対策として津波避難場所の見直しや新規指定
- ・土砂災害対策として砂防事業や雨水幹線の改良対策の推進
- ・急傾斜地等の土砂災害防止対策として一定の開発行為制限や住宅移転の促進
- ・新市庁舎は、防災拠点施設かつ一時避難場所としての機能を有する整備

【福祉の都市づくり方針】

- ・生活応援センターを核とした地域活動の推進
- ・市管理住宅の建替え・改善による多様なライフスタイルに対応した住宅の確保
- ・移住・定住の推進(復興公営住宅の市単独住宅への転用)
- ・駅や公共施設のバリアフリー化の推進

- 橋詰広場を活用したにぎわい活動



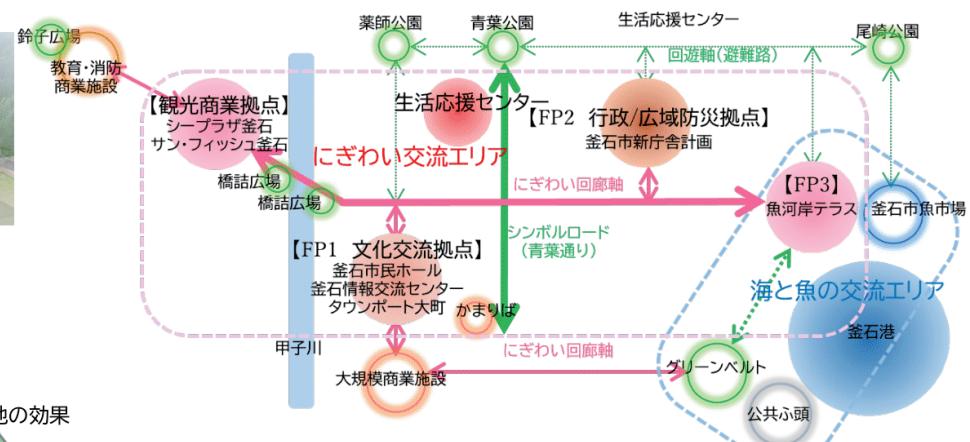
凡 例	
	高規格幹線道路
	鉄道
	国道・主要地方道路・都市計画道路
	長期間未着手の都市計画道路
	河川
	地区境界
	商業系土地利用
	住宅系土地利用
	産業系土地利用
	自然系土地利用
	公園
	生活応援センター
	供給処理施設等
	復興公営住宅
	にぎわい・文化交流施設
	スポーツ・レクリエーション施設



た歴史のある都市であり、釜石港周辺と甲子川下流域を中心に市街地が形成され人口が集積しています。行政、各種の産業などの都市機能が集積し、海と一緒にとなった街並みによる賑わいや快適な都市景観を創出する。

●釜石地区における都市活動イメージ

●FP2 新庁舎のイメージ



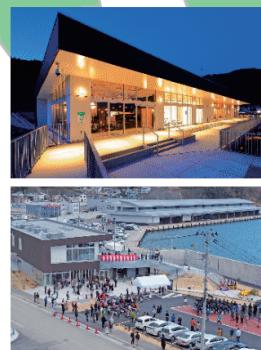
●釜石新庁舎周辺 防災拠点の形成、現庁舎跡地の効果的な活用の検討



●FP1におけるにぎわい活動



●FP3におけるにぎわい活動



●グリーンベルトにおけるにぎわい活動



平田地区

- 都市づくりにおける地区の将来像
「自然と共生し、先端技術と産業が拓くまちづくり」

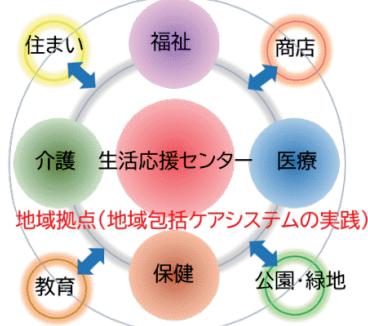
- 平田漁港から山際の平坦部にかけて市街地が商業で宅地等が整備されています。
- まちの防災性を強化するとともに、豊かな海な暮らしや活動などが展開されるまちづくり

平田地区都市づくり構想図

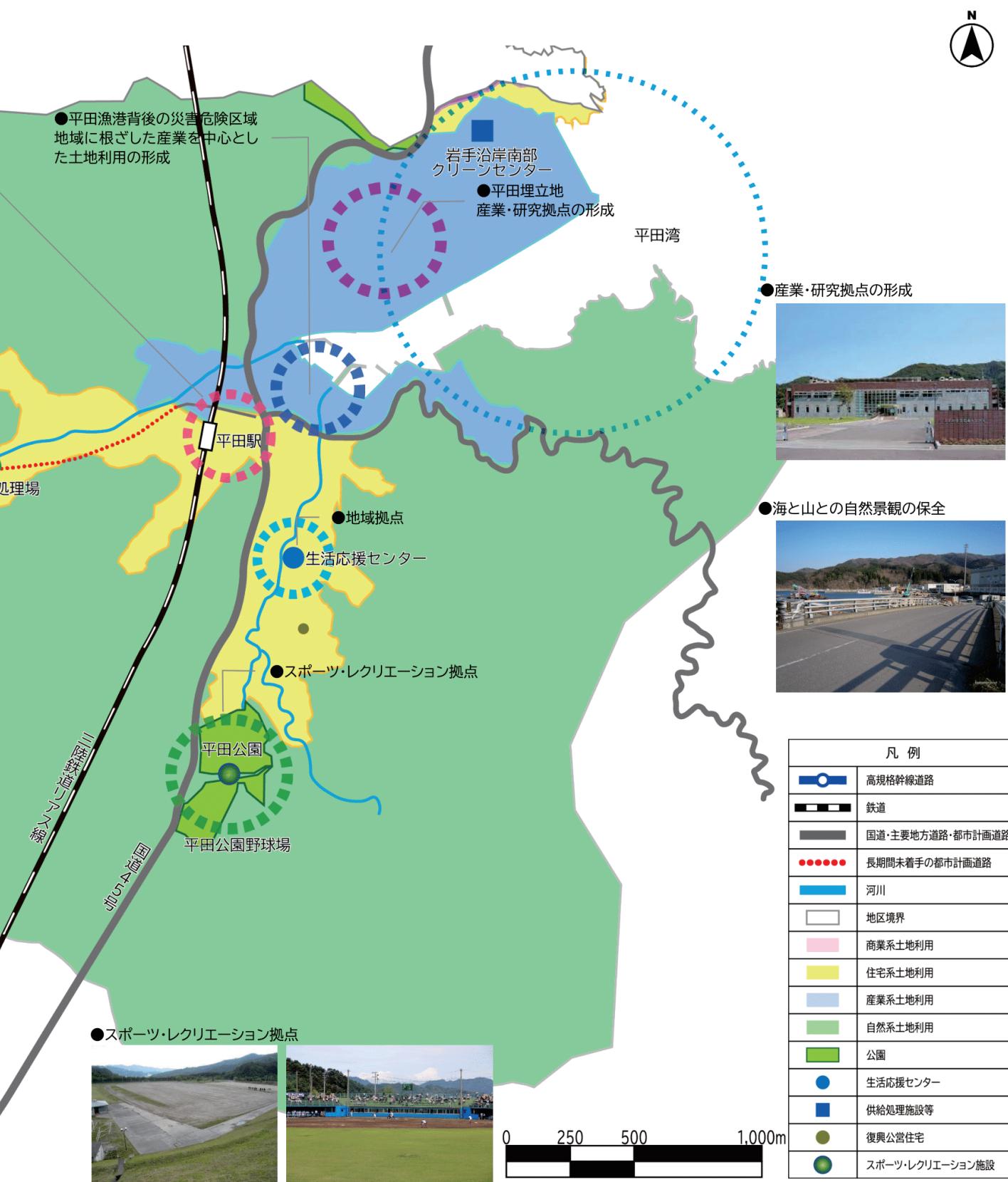
【都市施設の方針】
<ul style="list-style-type: none"> ・長期間未着手都市計画道路の計画の見直し ・公園・緑地の適正な配置・再編と子どもたちが安心して遊べる場所の確保 ・公営住宅の長寿命化計画の推進 ・浸水被害の軽減対策の推進
【景観の方針】
<ul style="list-style-type: none"> ・三陸復興国立公園のリアス海岸、下平田川・上平田川や市街地を取り囲む山林等の自然景観を保全・調和 ・海沿いの施設や道路環境の魅力のある景観の創出
【都市防災の方針】
<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する自然災害に対応した避難経路、避難場所の確保 ・津波、高潮対策として津波避難場所の見直しや新規指定 ・土砂災害対策として砂防事業や排水路の改良対策の推進 ・急傾斜地等の土砂災害防止対策として一定の開発行為制限や住宅移転を促進
【福祉の都市づくり方針】
<ul style="list-style-type: none"> ・生活応援センターを核とした地域活動の推進 ・市管理住宅の建替え・改善による多様なライフスタイルに対応した住宅の確保 ・移住・定住の推進 ・駅や公共施設のバリアフリー化の推進



●平田地区の都市活動イメージ



形成され、地区西側の丘陵部には大規模な上平田ニュータウンが整備されています。東日本大震災後、復興事業や山の自然と共に共生しながら、高度な産業技術に関わる研究・学術・交流や産業等の機能、自然に囲まれた豊かを目指します。



中妻地区

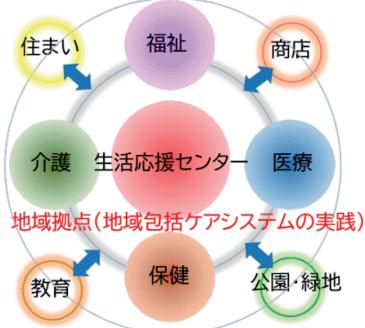
- 都市づくりにおける地区の将来像
「交通利便性を活かした、交流と活力のあるまちづくり」

- 中妻地区は、釜石地区の西隣に位置する市街沿いに市街地が形成され人口が集積しています
- 広域交通利便性を活かした商業・業務、流通うしや活動などが展開される交流と活力のあ

中妻地区都市づくり構想図

【都市施設の方針】
・長期間未着手都市計画道路の計画の見直し
・公園・緑地の適正な配置・再編と子どもたちが安心して遊べる場所の確保
・公営住宅の長寿命化計画の推進
・浸水被害の軽減対策の推進
【景観の方針】
・甲子川や市街地を取り囲む山林等の自然景観を保全・調和
【都市防災の方針】
・多様化する自然災害に対応した避難経路、避難場所の確保
・津波、高潮対策として津波避難場所の見直しや新規指定
・土砂災害対策として砂防事業や雨水幹線の改良対策の推進
・急傾斜地等の土砂災害防止対策として一定の開発行為制限や住宅移転の促進
【福祉の都市づくり方針】
・生活応援センターを核とした地域活動の推進
・市管理住宅の建替え・改善による多様なライフスタイルに対応した住宅の確保
・移住・定住の推進(復興公営住宅の市単独住宅への転用)
・公共施設のバリアフリー化の推進

●中妻地区の都市活動イメージ



●釜石中央 IC周辺
商業業務系の集積促進

小佐野駅

釜石中央 IC

釜石JCT

凡 例	
	高規格幹線道路
	鉄道
	国道・主要地方道路・都市計画道路
	長期間未着手の都市計画道路
	河川
	地区境界
	商業系土地利用
	住宅系土地利用
	産業系土地利用
	自然系土地利用
	公園
	生活応援センター
	供給処理施設等
	復興公営住宅
	スポーツ・レクリエーション施設

地で、交通や都市施設の利便性の高さから市内他地区からの人の行き来が多い地区で、甲子川の中流域の河川す。等、各種産業の立地を図るとともに、当市の中心市街地の一部として利便性が高く、自然に囲まれた豊かな暮らすまちづくりを目指します。



甲子地区

- 都市づくりにおける地区の将来像
「自然と歴史に彩られた、うるおいのあるまちづくり」

- 甲子地区は、かつては釜石街道の入口となる一人口が減少していない地域であり、甲子川
- 奥深い自然を守りつつ、貴重な歴史・文化の暮らしや活動などが展開されるうるおいのあ

甲子地区都市づくり構想図

【都市施設の方針】

- ・住宅地内の狭い道路の解消など、適切かつ計画的な改良整備
- ・長期間未着手都市計画道路の計画の見直し
- ・公園・緑地の適正な配置や再編の検討と子どもたちが安心して遊べる場所の確保
- ・公営住宅の長寿命化計画の推進
- ・公共下水道を導入できない地域での合併処理浄化槽の設置支援による普及促進
- ・浸水被害の軽減対策の推進

【景観の方針】

- ・甲子川や市街地を取り囲む山林等の自然景観を保全・調和
- ・釜石鉱山等の歴史文化資源を活かした景観整備

【都市防災の方針】

- ・多様化する自然災害に対応した避難経路、避難場所の確保
- ・土砂災害対策として砂防事業や排水路の改良対策の推進
- ・急傾斜地等の土砂災害防止対策として一定の開発行為制限や住宅移転を促進

【福祉の都市づくり方針】

- ・生活応援センターを核とした地域活動の推進
- ・市管理住宅の建替え・改善による多様なライフスタイルに対応した住宅の確保
- ・移住・定住の推進
- ・駅や公共施設のバリアフリー化の推進

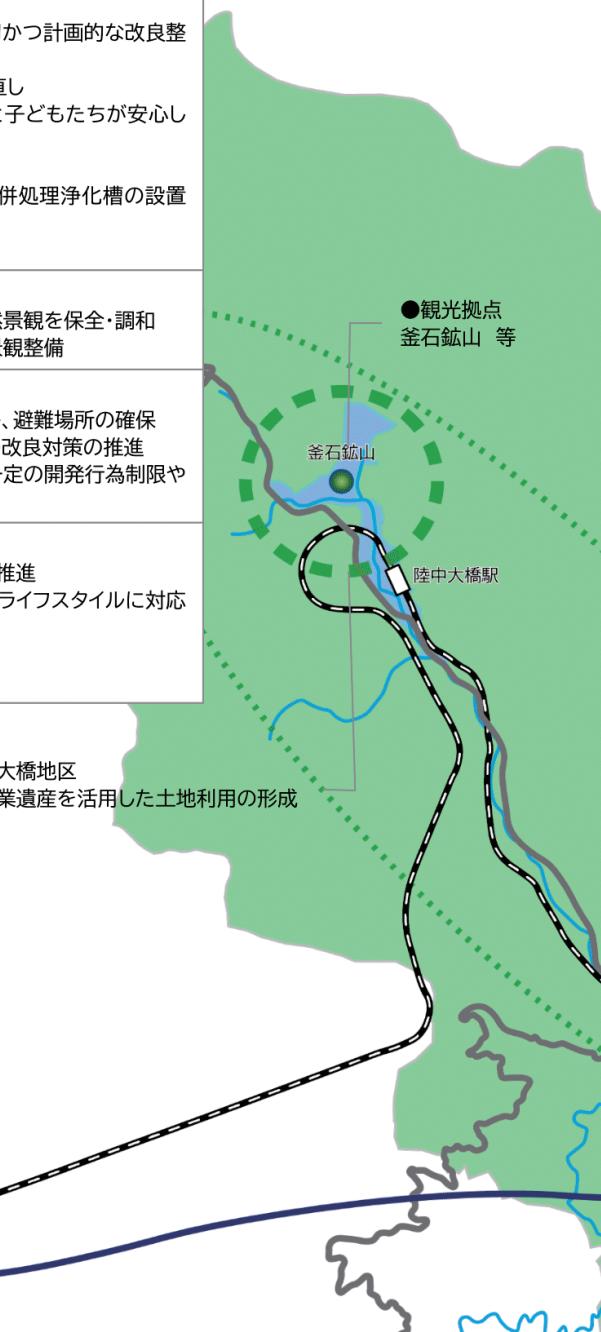
●甲子地区的都市活動イメージ



●大橋地区
産業遺産を活用した土地利用の形成

凡 例	
	高規格幹線道路
	鉄道
	国道・主要地方道路・都市計画道路
	長期間未着手の都市計画道路
	河川
	地区境界
	商業系土地利用
	住宅系土地利用
	産業系土地利用
	自然系土地利用
	公園
	生活応援センター
	にぎわい・文化交流施設
	スポーツ・レクリエーション施設

●道の駅仙人峠



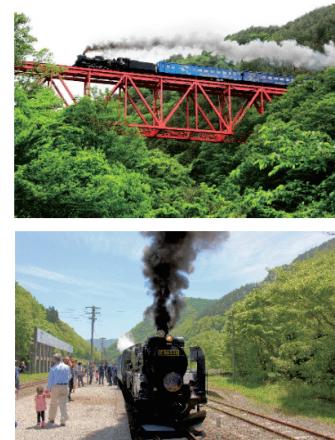
宿場として栄え、釜石鉱山の鉄鉱石採掘や釜石製鉄所のベッドタウンとして人口が増加し、震災後、市内で唯一の中流域から上流域の河川沿いに市街地が形成されています。
資源を活かしながら、観光・交流・体験等の機能を向上させるとともに、自然や歴史・文化に囲まれた豊かなまちづくりを目指します。



●歴史文化資源を活かした観光拠点



●豊かな観光資源



●国道 283 号沿道

- ・沿道利用の促進と沿道環境の向上
- ・工業系用途地域への変更の検討

- 住宅市街地進行地区
急速に住宅化が進んでいる地区的住宅系用途地域への変更の検討

●地域拠点

- 釜石仙人峰 IC 周辺
広域交通の利便性を活かした産業施設等の立地促進

●スポーツ・レクリエーション拠点



小佐野地区

- 都市づくりにおける地区の将来像
「豊かな自然と個性と魅力のあるまちづくり」

- 小佐野地区は、生活上の利便性が高く、製鉄
- 交通利便性を活かした商業・業務、流通等、
と魅力あるまちづくりを目指します。

小佐野地区都市づくり構想図

【都市施設の方針】

- ・長期間未着手都市計画道路の計画の見直し
- ・公園・緑地の適正な配置・再編と子どもたちが安心して遊べる場所の確保
- ・公営住宅の長寿命化計画の推進
- ・浸水被害の軽減対策の推進

【景観の方針】

- ・甲子川や小川川、市街地を取り囲む山林等の自然景観を保全・調和

【都市防災の方針】

- ・多様化する自然災害に対応した避難経路、避難場所の確保
- ・土砂災害対策として砂防事業や雨水幹線の改良対策の推進
- ・急傾斜地等の土砂災害防止対策として一定の開発行為制限や住宅移転の促進

【福祉の都市づくり方針】

- ・生活応援センターを核とした地域活動の推進
- ・市管理住宅の建替え・改善による多様なライフスタイルに対応した住宅の確保
- ・移住・定住の推進(復興公営住宅の市単独住宅への転用)
- ・駅や公共施設のバリアフリー化の推進

●小佐野地区の都市活動イメージ



●上小川周辺

住環境の向上と住居系用途地域への変更の検討

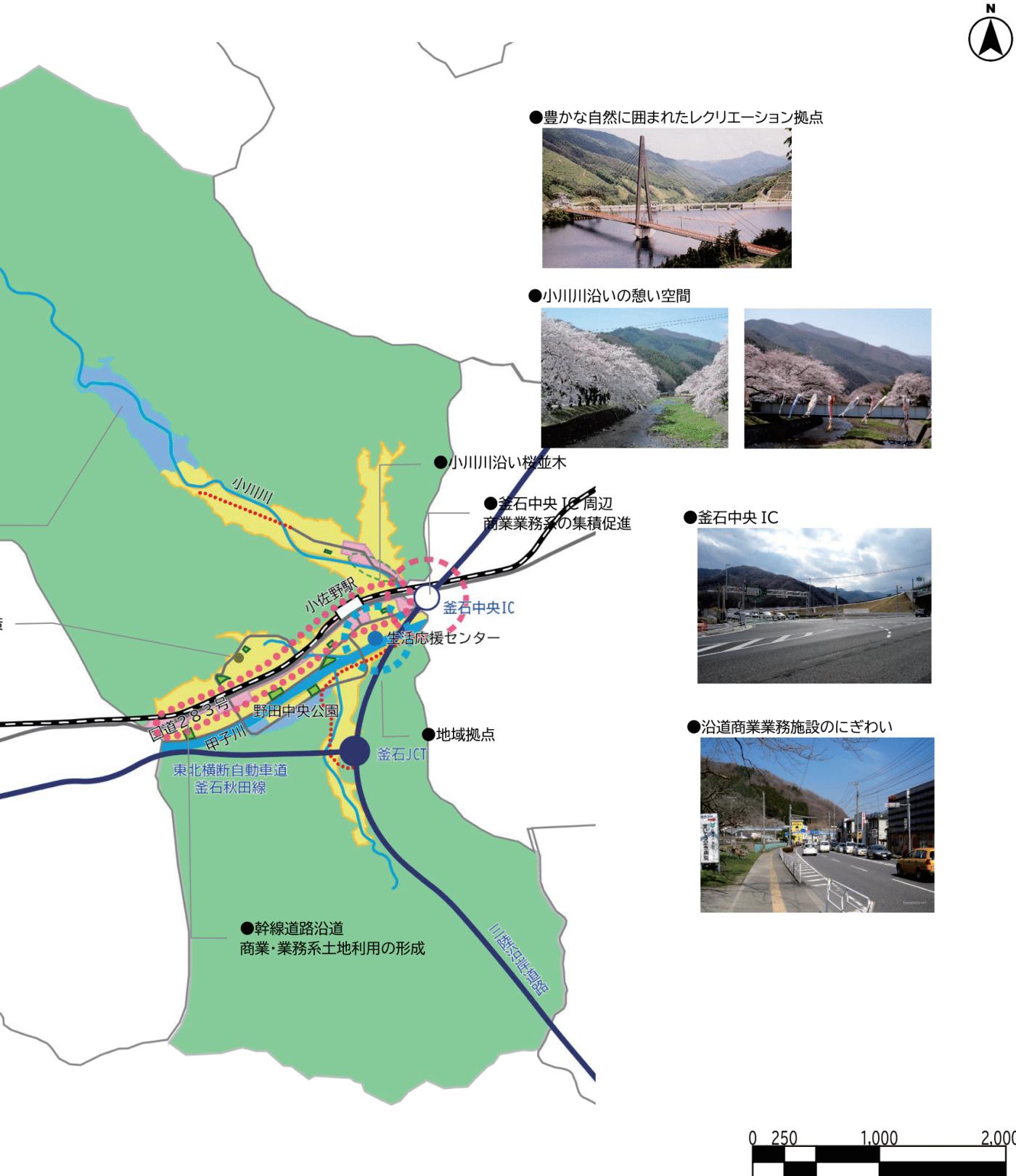
●復興公営住宅等
新たな都市住民の受け入れ施策
の推進



凡 例	
	高規格幹線道路
	鉄道
	国道・主要地方道路・都市計画道路
	長期間未着手の都市計画道路
	河川
	地区境界
	商業系土地利用
	住宅系土地利用
	産業系土地利用
	自然系土地利用
	公園
	生活応援センター
	復興公営住宅
	スポーツ・レクリエーション施設



所の発展と共に都市化が急速に進んだ地域で、甲子川の中流域とその支流沿いに市街地が形成されています。各種産業の立地を図るとともに、小川川沿い等に広がる豊かな自然に囲まれた豊かな暮らしが展開される個性



鵜住居地区

- 都市づくりにおける地区の将来像

「豊かな自然とスポーツ・レクリエーションを活かした、活力あるまちづくり」

- 鵜住居地区は、鵜住居町、両石町、片岸町、漁港を中心に市街地や集落を形成しています
- 安全・安心な暮らしの場を確保するとともにれた豊かな暮らしや活動などが展開される自

鵜住居地区都市づくり構想図

【都市施設の方針】

- ・公園・緑地の適正な配置・再編と子どもたちが安心して遊べる場所の確保
- ・公営住宅の長寿命化計画の推進
- ・公共下水道を導入できない地域での合併処理浄化槽の設置支援による普及促進
- ・浸水被害の軽減対策の推進

【景観の方針】

- ・三陸復興国立公園のリアス海岸、鵜住居川や市街地を取り囲む山林等の自然景観を保全・調和
- ・海沿いの施設や道路環境の魅力のある景観の創出

【都市防災の方針】

- ・多様化する自然災害に対応した避難経路、避難場所の確保
- ・津波、高潮対策として津波避難場所の見直しや新規指定
- ・土砂災害対策として砂防事業や雨水幹線の改良対策の推進
- ・急傾斜地等の土砂災害防止対策として一定の開発行為制限や住宅移転を促進

【福祉の都市づくり方針】

- ・生活応援センターを核とした地域活動の推進
- ・市管理住宅の建替え・改善による多様なライフスタイルに対応した住宅の確保
- ・移住・定住の推進(復興公営住宅の市単独住宅への転用)
- ・駅や公共施設のバリアフリー化の推進

●うのすまい・トモス周辺



●釜石北 IC 周辺

広域交通の利便性を活かした産業施設等の立地促進

●観光・レジャー・スポーツ・歴史・文化資源等のネットワーク形成

●釜石両石 IC 周辺

・釜石両石 IC は、地域の活性化や防災機能の強化を図るためにフルインター化を目指す
・広域交通の利便性を活かした産業施設等の立地促進

凡 例	
	高規格幹線道路
	鉄道
	国道・主要地方道路・都市計画道路
	河川
	地区境界
	商業系土地利用
	住宅系土地利用
	産業系土地利用
	自然系土地利用
	公園
	生活応援センター
	供給処理施設等
	復興公営住宅
	にぎわい・文化交流施設
	スポーツ・レクリエーション施設



0 250 1,000 2,000m

箱崎町の4つの区域で構成され、海・山・川に恵まれた自然豊かな地区です。鵜住居川下流域や箱崎半島部のが、震災復興事業により様々な公共施設が整備されています。

、豊かな海や山の自然を育みながら、スポーツやレクリエーションの観光・交流や産業等の機能、自然に囲まれたと交流による活力のあるまちづくりを目指します。

●鵜住居地区的都市活動イメージ



5 実現化方策

本計画に基づき、都市づくりを推進するために、以下に示す『5つの方策』を柱として、その実現に向けて取組みます。

都市づくりを推進するための方策

方策 1 持続可能な都市づくりへの転換に向けた総合的な施策展開の推進

方策 2 釜石版地域包括ケアシステムと一体となった都市づくりの推進

方策 3 ICT 等を活用した都市づくりの推進

方策 4 多様性を尊重するまちづくりの推進

方策 5 住民協働のまちづくりの推進

方策1 持続可能な都市づくりへの転換に向けた総合的な施策展開の推進

- 社会情勢の変化や新しい生活様式への対応等を踏まえ、関係部局が一体となり、ハード・ソフト両面での推進方策を検討し、総合的に施策を展開します。

方策2 釜石版地域包括ケアシステムと一体となった都市づくりの推進

- 生活応援センターを核とした拠点形成において、誰もが医療・介護・予防・生活支援・住まいの支援・サービスが適切に提供される都市づくりを進めます。

方策3 ICT 等を活用した都市づくりの推進

- 当市の抱える社会問題の解決手法の1つとして、ICT 技術を積極的に活用した取組を推進します。
- ・

方策4 多様性を尊重するまちづくりの推進

- 江戸時代から鉄の産地として知られ、国内外との様々な交流を通じて育んだ、来訪者や他文化を受け入れる地域性を活かし、移住・定住施策を戦略的に推進します。

方策5 住民協働のまちづくりの推進

- 「自分たちでできることは自分たちで」を基本に、それぞれが役割分担し、対等な立場で協力する「住民協働のまちづくり」を推進します。